

5260点の古文書・絵図を新たに公開しました！

群馬県立文書館では、1年につき約1万点の古文書を数回に分けて新たに公開しています。

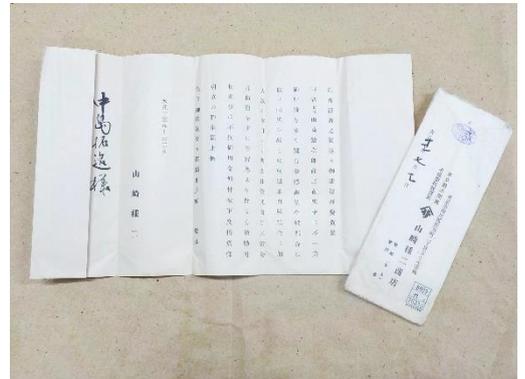
このほど、新たな古文書・絵図を閲覧いただく準備ができましたので、ご案内します。今回閲覧可能となる文書は次のとおりで、これで今年度新たに公開された古文書は8307点となります。

1 今回公開した古文書・絵図

①碓氷郡松井田町五料（現安中市） 中島徳造家文書（5238点）

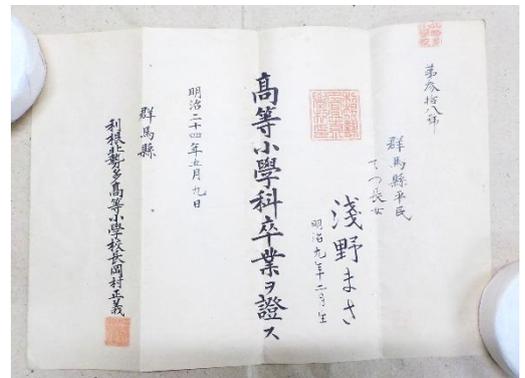
今年の8月に公開したタイタニック号に関する書簡の史料が含まれていた文書群で、今回が第5次公開となります。五料村の名主や白井町長・町会議員、学校長等々を務めた中島家に伝来した文書です。この公開で中島家文書のうち、13183点が閲覧可能となりました。

今回の公開分は、約730点の近世文書と約4500点の近現代文書で構成されています。近世文書には神社に関する文書等、宗教関連の文書が多く含まれています。また近現代文書は、年賀状や軍事郵便（多くは日露戦争時のもの）からなる約1850点のはがき・書簡のほか、教科書や雑誌等の書籍等もあります。（右図は山崎種二商店（現株式会社ヤマタネ）の開業挨拶状）



②利根郡利根村 浅野節子家文書（22点）

明治期の小学校の証書・賞状類が中心となっている文書群で、当時の教育課程等をうかがうことができます。成績優秀者には賞品も出ていたようで、往時の学校生活が想像されます。（右図）



2 場所 群馬県立文書館（もんじょかん） 2階 閲覧室（前橋市文京町3丁目27-26）

3 時間等 開館時間：9：00～17：00 休館日：月曜日、月末日、国民の祝日

4 その他 撮影は無料（スマートフォンやカメラをお持ちください。）

複写は1枚につき、白黒は10円、カラーは50円

『ぐんまの古文書 続編』（1,009円）等も販売中

群馬県立文書館では、現在、約28万点の古文書（原本）、約5万3千点のマイクロフィルム収集古文書、約7万点の群馬県史収集複製資料（ともに閲覧は複製本）等を公開し、県民の皆様をはじめ、広く一般の方々、研究者の方々などにご利用いただいております。歴史の確かな証拠である貴重な古文書や絵図の原本を直接手に取ってご覧いただくことができます。

詳しいご利用方法、収蔵資料の目録、最新情報等は、当館ホームページでご確認ください。